

平城宮跡資料館 令和4年度 春期特別展

平城宮跡史跡指定100周年記念・奈良文化財研究所70周年記念

未来につなぐ

平城宮跡

―保存運動のあけぼの―



―奈良文化財研究所 平城宮跡資料館―

2022年4月29日(金・祝)～6月12日(日)

月曜休館(5月2日は臨時開館)、入館料無料



平城宮大極殿旧址建標録ほか

遺跡のなかで歴史上・学術的に価値が高いものは「史跡」に指定されます。令和4年は平城宮跡がその「史跡」に指定されてから100年という節目の年にあたります。

平城宮は都が京都に遷って以降、長らく田畑になっていました。明治時代、その平城宮跡の保存運動を進めた人物としては、奈良の植木職であった棚田嘉十郎がよく知られています。ただし、保存運動の口火を切ったのは、地元である当時の都跡村の有志たちによる運動でした。

保存運動は、明治34年(1901)4月3日、第二次大極殿跡の基壇土壇上に標木を建設したことに始まります。近年、既に失われたと考えられていた当時の標木の一部と関係史料が地元の旧家で発見されました。本展示では、この標木とその建設前後の活動を紹介します。その後の棚田嘉十郎や地元の溝辺文四郎たちによる熱心な保存運動、史跡指定、整備事業、発掘調査による地下遺構の発見など、戦前から戦後にかけての平城宮跡をめぐる動きをご覧ください。様々な立場で平城宮跡の保存に関わった人々の熱い想いを感じて頂けますと幸いです。



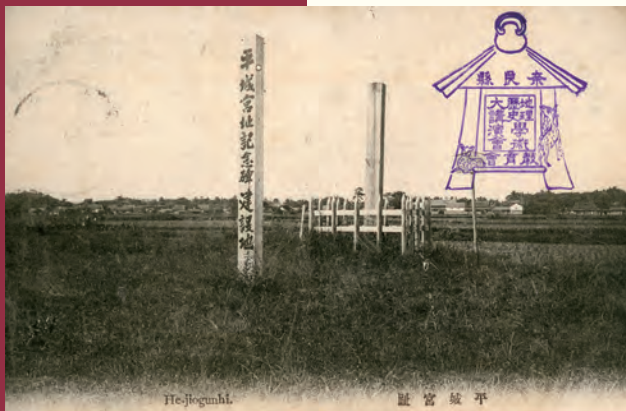
明治34年・43年に建設された標木

# 未来につながる平城宮跡

— 保存運動のあけぼの —



明治41年頃の大極殿古写真  
『奈良県名勝写真帖』(明治43年、奈良県)  
奈良県立図書館情報館所蔵



大極殿壇上の標木古写真  
大正2年以前撮影  
奈良県立図書館情報館所蔵

## 会期

令和4年4月29日(金・祝)～6月12日(日)

月曜休館(5月2日は臨時開館)、入館料無料

## 場所

平城宮跡資料館 企画展示室

## 出品

明治34年・43年建設標木、平城宮大極殿旧址建標録、平城宮旧址保存計画図(上田三平資料)ほか約70点

## 連絡先

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 〒630-8577 奈良市二条町2-9-1

TEL 0742-30-6753 (連携推進課)



入館無料・駐車場無料

●電車で来られる方  
近鉄大和西大寺駅北口から  
東へ徒歩10分

●車で来られる方  
平城宮跡資料館北側駐車場

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所  
**平城宮跡資料館**  
<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/>